

セレコックス錠 100mg セレコックス錠 200mg

【この薬は？】

販売名	セレコックス錠 100mg Celecox Tablets	セレコックス錠 200mg Celecox Tablets
一般名	セレコキシブ Celecoxib	
含有量 (1錠中)	100mg	200mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、非ステロイド性消炎・鎮痛剤（NSAID）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、炎症にかかわるプロスタグランジンという物質の生成をおさえ、消炎・鎮痛効果をあらわします。
- ・次の目的で処方されます。

下記疾患並びに症状の消炎・鎮痛

関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、腱・腱鞘炎

手術後、外傷後並びに抜歯後の消炎・鎮痛

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○外国において、重篤で場合によっては死に至る心筋梗塞（しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷汗が出る）、脳卒中（突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かしくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐（おうと）、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる）などの危険性を増大させる可能性があり、これらの危険性は使用期間とともに増大する可能性がある」と報告されています。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】、**副作用は？**に書かれていることに特に注意してください。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にセレコックス錠に含まれる成分またはスルホンアミド（スルホニルウレア系経口血糖降下剤など）で過敏症のあった人
- ・アスピリン喘息（非ステロイド性消炎・鎮痛剤などにより誘発される喘息発作）のある人、または過去にアスピリン喘息になったことがある人
- ・消化性潰瘍のある人
- ・肝臓に重篤な障害のある人
- ・腎臓に重篤な障害のある人
- ・重篤な心機能不全のある人
- ・冠動脈バイパス再建術の周術期（術前、術中、術後）の人
- ・妊娠末期の人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・心血管系に障害のある人、または過去に心血管系に障害があった人
- ・心臓に障害のある人
- ・高血圧症の人
- ・過去に消化性潰瘍になったことがある人
- ・非ステロイド性消炎・鎮痛剤を長期間使用したことによる消化性潰瘍のある人で、この薬を長期に使用する必要があり、かつミソプロストールによる治療を受けている人
- ・気管支喘息の人
- ・腎臓に障害のある人、または過去に腎臓に障害があった人
- ・肝臓に障害のある人、または過去に肝臓に障害があった人
- ・妊婦（妊娠末期を除く）または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

【関節リウマチの場合】

販売名	セレコックス錠 100mg	セレコックス錠 200mg
1 回量	1～2 錠	半～1 錠
飲む回数	1 日 2 回 朝・夕食後	

【変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、腱・腱鞘炎の場合】

販売名	セレコックス錠 100mg	セレコックス錠 200mg
1 回量	1 錠	半錠
飲む回数	1 日 2 回 朝・夕食後	

【手術後、外傷後並びに抜歯後の消炎・鎮痛】

販売名	セレコックス錠 100mg		セレコックス錠 200mg	
1 回量	初回のみ	4 錠	初回のみ	2 錠
	2 回目以降	2 錠	2 回目以降	1 錠
飲む回数	〔毎日服用の場合〕 1 日 2 回 6 時間以上の間隔をあけて飲んでください。			
	〔頓用の場合〕 医師の指示どおりに飲んでください。 1 日 2 回まで 6 時間以上の間隔をあけて飲んでください。			

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1 回分飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は 1 回とばして、次の時間に 1 回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

●効果が不十分な場合の対応

この薬を 2～4 週間使用しても効果が認められない場合は、他の治療薬が選択されます。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の使用により、重篤で場合によっては死に至る心筋梗塞、脳卒中などがあらわれることがあるので、これらの自覚症状があらわれた場合には、医師または薬剤師に相談してください。
- ・この薬の使用により、肝不全、肝炎、黄疸があらわれることがあるので、定期的に肝機能検査などが行われることがあります。
- ・この薬の使用により、急性腎障害、間質性腎炎などの重篤な腎障害があらわれることがあるので、定期的に腎機能検査などが行われることがあります。
- ・この薬の使用により、中毒性表皮壊死融解症（TEN（テン））、皮膚粘膜眼症

候群（ステイブンスジョンソン症候群）などの重篤で場合によっては死に至る皮膚症状があらわれることがあります。多くの場合、この薬を使用開始してから1ヵ月以内にあらわれるので、使用開始初期には特に注意してください。

- ・関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、腱・腱鞘炎の方がこの薬を使用中には、定期的または必要に応じて、尿検査、血液検査、腎機能検査、肝機能検査、心電図検査、便潜血検査などが行われます。
- ・この薬は炎症症状や痛みをやわらげますが、炎症などの原因を取り除いてその病気そのものを完治させる薬ではありません。
- ・この薬は微生物感染による炎症症状をおさえるため、感染症の症状を把握できにくくすることがあります。
- ・この薬を使用中にめまいや傾眠（刺激がないと眠ってしまう）などがあらわれることがありますので、自動車の運転など危険を伴う作業をするときには十分注意してください。
- ・妊娠末期の人は、この薬を使用することはできません。
- ・妊婦（妊娠末期を除く）または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
消化性潰瘍 しょうかせいかいよう	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）、腹痛、胃がむかむかする、黒い便が出る
消化管出血 しょうかかんしゅつけつ	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、腹痛、便に血が混じる、黒い便が出る
消化管穿孔 しょうかかんせんこう	吐き気、嘔吐、寒気、発熱、激しい腹痛、ふらつき、息切れ、意識の低下
心筋梗塞 しんきんこうそく	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷汗が出る
脳卒中 のうそっちゅう	突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かしにくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
心不全 しんふぜん	息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重が増える

重大な副作用	主な自覚症状
うっ血性心不全 うっけつせいしんふぜん	息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重が増える
肝不全 かんふぜん	意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
肝炎 かんえん	体がだるい、吐き気、嘔吐、食欲不振、発熱、上腹部痛、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	めまい、体がだるい、息切れ、動悸、あおあざができる、出血が止まりにくい、発熱、寒気、喉の痛み
汎血球減少症 はんけつきゅうげんしょうしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきからの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	発熱、発疹、関節の痛み、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、むくみ、尿量が減る
中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう（トキシックエピダーマルネクロライシス：テン）	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（スティーブンスジョンソンしょうこうぐん）	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
多形紅斑 たけいこうはん	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、発熱、関節の痛み、喉の痛み
急性汎発性発疹性膿疱症 きゅうせいはんぱつせいほっしんせいのおほうしょう	発熱、皮膚が広い範囲で赤くなる、ところどころに小さな膿をともなう発疹が出る
剥脱性皮膚炎 はくだつせいひふえん	ほぼ全身の皮膚が発赤する、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる、発熱をしばしば伴う
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、寒気、発熱、疲れやすい、むくみ、体重が増える、体がかゆくなる、急激に体重が増える、体がだるい、食欲不振、力が入らない、出血が止まりにくい、出血しやすい、突然の高熱、発熱をしばしば伴う
頭部	めまい、意識の消失、意識の低下、突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然の頭痛、突然のめまい
顔面	顔面蒼白、鼻血
眼	白目が黄色くなる、目の充血やただれ
耳	耳鳴り
口や喉	喉のかゆみ、吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、突然の嘔吐、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる、血を吐く、喉の痛み、歯ぐきからの出血、唇や口内のただれ、咳
胸部	動悸、息苦しい、息切れ、しめ付けられるような胸の痛み
腹部	腹痛、胃がむかむかする、激しい腹痛、お腹が張る、上腹部痛
手・足	手足が冷たくなる、突然片側の手足が動かしにくくなる、関節の痛み
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が黄色くなる、あおあざができる、発疹、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が広い範囲で赤くなる、ところどころに小さな膿をともなう発疹が出る、ほぼ全身の皮膚が発赤する、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる
便	黒い便が出る、便に血が混じる、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、下痢
尿	尿の色が濃くなる、尿量が減る

【この薬の形は？】

販売名	セレコックス錠 100mg	セレコックス錠 200mg
色	白色	白色
形状	素錠（割線入） 	素錠（割線入） 
径	直径 8.0mm	長径 13.0mm 短径 6.5mm
厚さ	2.7mm	5.1mm
重さ	180mg	360mg
識別コード	VT214	VT215
PTP シート		

【この薬に含まれているのは？】

販売名	セレコックス錠 100mg	セレコックス錠 200mg
有効成分	日局 セレコキシブ	
添加剤	乳糖水和物、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、ラウリル硫酸ナトリウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ヴィアトリス製薬合同会社

メディカルインフォメーション部

フリーダイヤル 0120-419-043

受付時間：月～金 9時～17時30分

(土日祝および当社休業日を除く)